

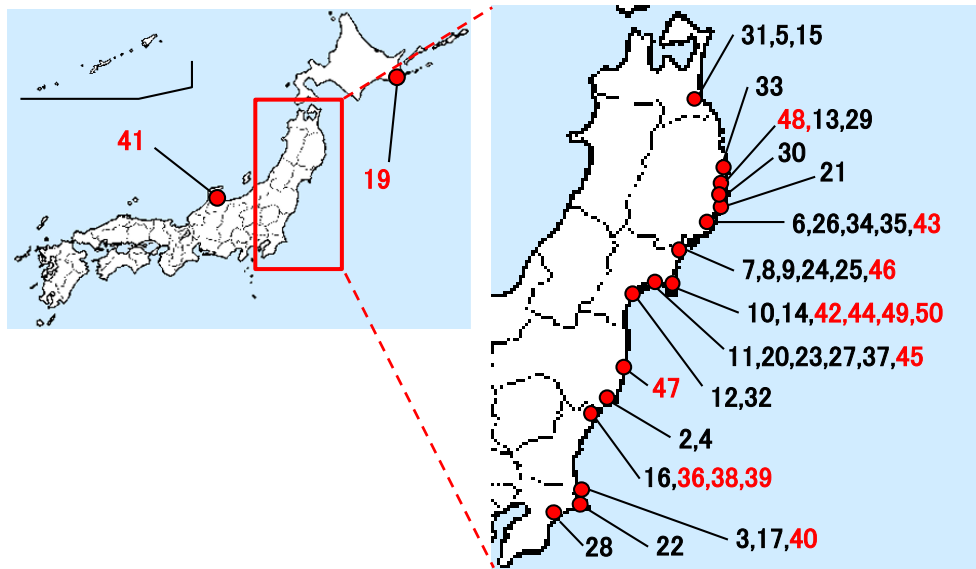
地域漁業復興プロジェクト進捗状況 (平成30年2月1日現在)

【実施中・実施予定の計画】

- 19 全さんま・歯舞(さんま棒受網): LED漁灯の導入による燃油消費量の削減、高付加価値化等【H25.8～H30.8 新船型】
- 36 北まき・大津②(大中まき): 運搬機能付き網船導入、船団縮小(3隻→2隻)等【H27.4～H30.4 新船型※、H27.5～H30.4 新船型】
- 38 北まき・大津③(大中まき): 190トン型新型網船導入による船団縮小(3隻→2隻)、運搬船の共同利用等【H27.10～ H30.9 新船型】
- 39 北まき・大津④(大中まき): 運搬機能付き網船導入による船団縮小(3隻→2隻)等【H28.1～H31.1 新船型】
- 40 北まき・波崎⑤(大中まき): 船団縮小による合理化、コスト削減等【H28.6～ H31.5 新船型、H29.7～ H31.6 新船型】
- 41 全さんま(大型)・富山(さんま棒受網): 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等【H28.8～ H31.8 新船型】
- 42 全さんま(大型)・宮城(さんま棒受網): 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等【H28.8～H31.8 新船型】
- 43 全さんま(小型)・大船渡④(さんま棒受網): 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等【H28.8～ H31.8 新船型】
- 44 全さんま(小型)・宮城(さんま棒受網): 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等【H29.3～ H32.2 新船型】
- 45 宮城県沖底②(沖底): 新船・既存船グループ操業、高鮮度・高付加価値化等【H28.4～H31.3 既存船型、H29.2～H32.1 新船型】
- 46 気仙沼(近海まぐろ延縄②): 協業化、集団操業、省エネ運航、高鮮度化等【H28.4～H31.4 既存船型】
- 47 北まき・小名浜③(大中まき): 船団縮小(3隻→2隻)、冷海水及び水水による鮮度保持、分散水揚げ等【H29.3～H32.2 新船型】
- 48 宮古・釜石(沖底③): 省エネ運航、高鮮度化等【H29.9～ H31.8 新船型】
- 49 遠洋かつお・まぐろ(遠洋まぐろ延縄・女川③): 省エネ漁船、6次産業化、高鮮度化等【H29.4～H32.3 新船型】
- 50 全さんま(大型)・宮城②(さんま棒受網): 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等【H29.12～H31.12 新船型】

全体計画(マスタープラン)

- 1 北部太平洋海区大中小型まき網漁業復興計画 (大中小型まき網)
- 18 全国さんま棒受網漁業復興計画 (さんま棒受網)



【事業を終了した計画】

- 2 北まき・小名浜①(大中まき): 船団縮小(2ヶ統8隻→2ヶ統4隻)、漁獲物の高鮮度保持等【H24.6～H27.5 新船型】
- 3 北まき・波崎②、③(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)、生産コストの削減等【②: H24.4～H25.3 新船型、③: H24.2～H27.1 新船型※】
- 4 北まき・小名浜②(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)、コンテナバックの導入等【H24.6～H27.5 新船型】
- 5 八戸(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)、船凍品の開発等【H24.5～H26.4 新船型】
- 6 全さんま・大船渡(さんま棒受網): コスト削減、高付加価値化等【H24.10～H26.9 新船型】
- 7 全さんま・気仙沼(さんま棒受網): 兼業型・改革型漁船の導入、フィッシュポンプの活用、高付加価値化等【H24.9～H27.8 新船型】
- 8 気仙沼(近海まぐろ延縄①): 集団操業、水揚量の均衡化、ペア操業による省エネ等【H24.4～H27.3 既存船型】
- 9 遠洋まぐろ延縄・気仙沼: 船上ロイン加工、省エネ等【H24.5～H27.4 既存船型】
- 10 遠洋かつお一本釣り・女川②: 一本釣りとまき網によるハイブリッド化等【H24.4～H27.3 新船型】
- 11 北まき・石巻(大中まき): 船団縮小(5隻→2隻)、省エネ・省コスト、高品質化等【H25.2～H28.1 新船型】
- 12 亙理(小底): 小底と敷網漁業との兼業化等【H25.1～H28.1 新船型】
- 13 宮古・釜石(沖底): 省エネ・省人・省力化、高鮮度出荷等【H24.7～H27.6 新船型】
- 14 遠洋まぐろ延縄・女川①: 省エネ、低燃費操業、新たな拠点整備等【H25.1～H28.1 新船型】
- 15 八戸(遠洋底びき網): 欧州型漁船の導入、新漁場の利用等【H25.8～H28.8 新船型】
- 16 北まき・大津(大中まき): 船団縮小(3隻→2隻)、省エネ・省コスト等【H25.4～ H27.5 新船型】
- 17 北まき・波崎④(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)、新型揚網機の導入等【H25.6～H28.6 新船型※】
- 20 宮城県沖底①(沖底): グループ操業による漁場の有効利用及び付加価値向上等【H24.9～ H27.8 既存船型】
- 21 新おつち(大型定置): 船団縮小、周年操業、水艙を備えた網船の導入等【H24.9～ H27.8 既存船型・新船型】
- 22 北まき・鮭子(大中まき): 船団縮小(3隻→2隻)、小型鮮魚パックの導入等【H26.4～H29.3 新船型・既存船型】
- 23 遠洋かつお一本釣り・東・中日本: グループ操業、燃油消費量の削減、魚艙の設備改良等【H25.3～ H28.3 既存船型】
- 24 遠洋かつお一本釣り・気仙沼②: S-1製品の製造、燃油消費量の削減等【H25.2～H28.2 既存船型】
- 25 全国遠洋まぐろ・気仙沼: 年2航海操業、労働環境の改善、次世代型冷凍システムの導入等【H25.11～H28.11 新船型】
- 26 全さんま・大船渡②(さんま棒受網): LED漁灯の導入、漁獲物の船上箱詰め等【H25.8～H28.8 新船型】
- 27 石巻底びき(沖底・小底): 低コスト操業と高付加価値化等【H25.2～H27.1 新船型】
- 28 千葉(中まき): 船団縮小(7隻→5隻)、船型の改革による省コスト化、コンテナバックの導入等【H26.4～H29.3 新船型】
- 29 宮古・釜石②(沖底): 省エネ型漁船、省人・省力化、高付加価値化等【H26.4～H29.3 新船型】
- 30 三陸やまだ(大型定置): 船団構成のスリム化によるコスト削減、高鮮度漁獲物の供給等【H25.4～H28.4 新船型】
- 31 八戸③(大中まき): 活魚、鮮魚、凍結魚の搬送可能な運搬船の導入等【H26.10～H29.9 新船型】
- 32 仙台湾(刺し網等): マサバ刺し網から釣りへの転換、活魚出荷等【H25.10～H28.9 既存船型】
- 33 田野畑村(大型定置・小型定置): 網規模縮小によるコスト削減、定員削減等【H26.4～H29.3 新船型】
- 34 全さんま・大船渡③(さんま棒受網): 省エネ・省コスト漁船、船上箱詰め等【H26.8～H29.8 新船型】
- 35 全さんま・大船渡・綾里(さんま棒受網): 省エネ漁船、曳き網と延縄の兼業漁業、船上箱詰め等【H26.8～H29.8 新船型】
- 37 石巻底びき(小底(貝桁)): 資源管理に配慮したグループ操業等【H26.9～H29.8 既存船型】

※自己負担により実施

認定漁業復興計画 50件：実施中 17件(全体計画2件含む)、事業終了 33件

(注1) 赤数字：実施中の計画、青数字：実施予定の計画、黒数字：終了した計画

(注2) 計画名は、復興プロジェクト名及び漁業種類の一部を省略して記載